

栄村交流通信

Vol. 1

<『長野県栄村』の魅力 みんなで感動と共感>

栄区長 尾仲富士夫

私たちが長く交流を続けている長野県栄村。そこには、日頃体感できない雄大で幻想的な大自然、また、人懐っこく、心温かい村民の皆様が暮らしています。その栄村の魅力をもっと多くの栄区民の皆様を知っていただきたい、現地を訪ねていただきたい、そのような思いから、栄村の様々な情報を定期的に提供する「栄村交流通信」を発行しました。

さて、平成 23 年 3 月 12 日午前 3 時 59 分、栄村を震度 6 強の大地震が襲いました。

すぐに、栄区民の皆様は立ち上がりました。

そして、栄村のために何かできないかという、多くの皆様の熱い思いから 700 万円を超える義援金をいただきました。

ありがとうございました。

まだまだ、復興の途上です。区民の皆様とともに、栄村と様々な形でご支援など関わっていきたいと思います。

そして、このご縁をいつまでに大切にしていきます。

どうぞよろしく申し上げます。



<栄村の復興状況>

平成 23 年 3 月 12 日に栄村を襲った震度 6 強の大地震は長野県北部を震源とするもので、栄村に甚大な被害をもたらしました。しかし栄村では、この地震を契機とし、以前よりも良い状態にする「復興」を目指し、平成 24 年 10 月 16 日に「栄村震災復興計画」を策定しました

この計画は、『震災をのりこえ、集落に子供の元気な声が響く村を』を基本目標とし、集落を中心とするコミュニティが震災をのりこえて、一層豊かなものにするために、子どもからお年寄りまで、たくさんの人達が共に暮らす豊かな地域を作り出すことを目指し復興事業を目指すものです。

現在までの復興の様子

▼平成 23 年 3 月 13 日



▼8月 17 日



▼平成 24 年 5 月 30 日



▼9月 18 日



<栄区と栄村の交流の経緯>

栄区と栄村の交流事業は同じ「栄」の名を縁として、平成4年の小学生同士の相互訪問事業からはじまりました。この事業ではそれぞれの小学生40名ずつが1年ごとに栄区と栄村を交互に訪問し、交流を行いましたが、栄村の小学生の減少などの理由により平成14年に終了しました。

現在は毎年11月に開かれる「栄区民まつり」での栄村物産展の開催や、栄村と交流する栄区民の会や栄区シニアクラブ等の団体による訪問などの交流が続けられています。



区民まつりでの栄村物産展

<「栄村知り隊」小学生が栄村を訪問しました>

平成24年9月29(土)、30(日)の2日間、栄区の小学3年生～6年生の34名、保護者4名が栄村を訪れ、栄村の自然や文化などを体験する「栄村知り隊」事業を実施しました。平成14年に終了した交流事業が新しい形で復活し、区民・村民同士が交流を深めました。

●29日(土) 実施事業

稲刈り・はぜ掛け体験、伝統文化「マタギ」に関する映像やお話、星空鑑賞など ※宿泊先「中条温泉トマトの国」

●30日(日) 実施事業

栄ふるさと太鼓(現地の小中学生)による演奏と交流、間伐材を利用した木工製作、絵手紙体験、郷土食「あんぼ」体験など



はぜ掛け体験



栄村の子どもたちによる栄ふるさと太鼓

平成24年10月発行 横浜市栄区役所 ☎894-8181(代表)

編集・発行:広報相談係 ☎894-8335

問合せ先 栄村の復興状況:庶務係(防災担当) ☎894-8312

「栄村知り隊」事業:生涯学習支援係 ☎894-8395